

所属	生涯福祉研究科 生涯福祉専攻 修士課程	修了年度	平成 29 年度
氏名	肖飛龍	指導教員 (主査)	須加美明

論文題目	リハビリ職の地域連携と職務満足及び離職意向との関連—訪問看護師との比較分析
------	---------------------------------------

本文概要

研究の目的 リハビリ職および訪問看護職を対象として「他職種との連携」及び「地域連携」と離職意向の関連を明らかにすることを目的にした。連携と離職意向との関連を調べた研究はあるが、リハビリ職における連携と離職の関連を調べた研究はあまりなく、それを訪問看護ステーションのなかで看護師と比較した分析はほとんどない。他職種との連携を調べるために、リハビリ職および訪問看護職がお互いに、またケアマネとの間で、さらに医師との間でどの程度連携できているかを調べ、リハビリ職の専門職間での連携が、その地域連携にどう影響をするかを明らかにすると共に、それが離職意向とどの程度関連するか明らかにすることが本論の目的である。

研究方法 東京都内にある訪問看護ステーションに所属する理学療法士などのリハビリ職と訪問看護師を調査の対象にした。回収された有効な調査票はリハビリ職171件、訪問看護師244件であり、これを分析対象にした。リハビリ職および訪問看護職がお互いに、またケアマネジャーとの間で、さらに医師との間でどの程度連携できているかを調べるために、リハビリ職とケアマネジャーとの連携を調べる6項目、リハビリ職と訪問看護師との連携を調べる6項目、リハビリ職と医師との連携を調べる6項目を作成した。地域連携は阿部らの作成した26項目尺度を用いた。離職意向は「いまの職場をやめ、他の職場で働きたいと思いますか」など4項目の合計得点をもとめ、連携尺度との相関を分析した。

結果と考察 独自に作成したリハビリ職と訪問看護職、ケアマネジャー、医師との連携を調べる尺度と離職意向との関連を調べた結果、リハビリ職と他の3職種との連携は離職意向と統計的に有意な関連が見られなかった。一方、訪問看護職の場合には、ケアマネジャーとの連携と離職意向とは $r=-.18$ 、リハビリ職との連携は $r=-.18$ 、医師との連携では $r=-.27$ の負の相関があった。リハビリ職及び訪問看護職の他職種と連携する程度が、職務満足感及びストレス反応と関連するかを調べたところ、リハビリ職では関連なく、訪問看護職では有意な相関があった。リハビリ職が利用者宅で行う機能訓練などに比べ、訪問看護師は病状など状態変化を把握するだけでなく、利用者の生活全般に関わる程度がより強いためこのような違いが生じたと思われる。地域連携尺度の得点と離職意向との相関を調べたところ、リハビリ職では $r=-.23$ 、看護職では $r=-.24$ の負の相関があった。地域連携ではリハビリ職と訪問看護職の差がほとんどないことから、地域包括ケアの観点からその業務を位置付けた場合、両専門職はともに重要な役割をになっていることが示唆された。